

3. ジョウロウホトトギス
 ジョウロウホトトギス (トサ
 ジョウロウホトトギス) *Tricyrtis macrantha* Maxim.
 は、名のごとく美しい花を開く珍しい植物であるが、今までの記載や図鑑の説明には、夏、ことに8月頃開花することになっている。しかしこれは明らかに誤っていて、8月なかばにはまだほとんどつぼみも見えない。例年花が咲き始めるのは9月下旬で、10月上旬が盛りになる(図4)。

この植物の type locality である高知県高岡郡横倉山ではしだいに少なくなり、今では手のとどくところではあまり見られなくなっている。しかしおなじ高岡郡の佐川町や葉山村にはかなり多く生えているところがあり、ともに石灰岩地以外には見られない。

ただこれらの地方でも、石灰岩の採掘計画などがあり、荒らされるおそれも多く、またこの花の写真も今までにあまり見られなかったのも、ここにのせておくことにした。

(高知大学教育学部生物学教室)

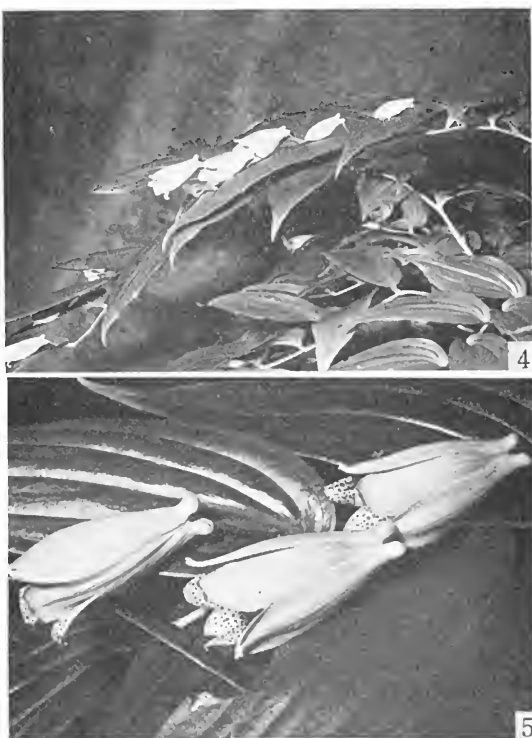


Fig. 4. *Tricyrtis macrantha* at Sakawa, Kochi Pref. (Oct. 9, 1965).

□R. Hegnauer: *Chemotaxonomie der Pflanzen*. Band 3; Dicotyledonaceae, 1 Teil von Acanthaceae bis Cyrillaceae, 1964. pp. 743, 12,300円. 発行所 Birkhäuser Basel. 本篇は2冊の既刊につぐ第3巻として出版され、扱れた科は Acanthaceae から Cyrillaceae までで、以後は恐らく第4巻にて完成されることであろう。この本の科の順序は分類順でなく、科名のアルファベット順であるからAにはじまる科からCに始まるものまでである。

(久内清孝)